

# 5歳の子どもって

親にウソをつくなで!!  
この先どうなるんだろう…!?

何でちゃんと  
挨拶しないの!

私たちの子育て、  
間違ってたのかしら…!?!?

言うことを  
聞かないのが  
筋金入り  
になってきた!?

どこで覚えてきたの?  
そんな汚い言葉!!

こんな子に  
育つはずじゃ  
なかったのに…

お友だちと  
どうして  
仲良く  
できないの!

どうして  
うちの子には  
できないの!?

## …大人が自信をなくす、お子さんのそんな行動はありませんか?

見通しがしっかりついてきて、「これはこうなるはず」「でもそうっていないのはおかしい」と考えられる力がついてきます。ですから、場合によってはお母さんの言うことを聞かないこともあるのです。

子どもの声に耳を傾けてみると、なるほどと納得する場合があるかもしれません。でも、へ理屈やわがままの場合や、「そうかもしれないけど、やってほしいな」というときには、わかりやすい言葉で正してあげたり、目で見てわかりやすいように示したり、子どもがひと区切りついたタイミングを見計らって頼んだり、「この間はとても助かったわ」と自尊心をくすぐったり、やってくれたら「ありがとう」と伝えたりしてみたいかもしれません。

考える力がどんどん増して、相手の考えを思いえがけるようにまですると、子どもはウソをつくようになりがちです。なぜなら、人間は「相手からの攻撃を察知すると思わず身を守る」ようにできているからです。

ウソにも「叱られないため」「相手の注意をひきたくて」「そうなるといいな」などいろんな理由があります。「ウソをつく悪い癖がついてしまった」と決めつけるよりも、ウソをつくに至った子どもなりの気持ちを想像してあげると、子どもらしい率直な気持ちに出会えて抱きしめてあげたくなるかもしれません。「相手の注意をひきたくてつくウソ」は、放っておくのも1つです。

この時期、お友だちとよく遊ぶようになると同時に、**自分の主張がしっかりできるようになり**、そのお友だちとトラブルになることもあります。だって、相手にも主張があるわけですからね。社会性(いろんな人と一緒に生きていける力)は、そういったいろんな体験をもとに身についていきます。

子どもはどんな場面で自分の人生にとって大切なことを学んでいるかしれません。大人が中に入ってあげなければならぬトラブルは別にして、子どもの世界を見守ってあげる心の余裕をもてたいですね。

さて、小学校入学を前に、「こんなん、やっていけるの?」と心配になることも多いかと思います。この時期の、いろんなことのできるようになる**ペースは1人ひとり異なります**。自分のことをすべて自分でできたり、時間に合わせて行動できる子ばかりではありませんから、**焦らなくても大丈夫**ですよ。

余裕のあるときは、お子さんに「どうすればいいかな?」と尋ねてあげて、次の段取りを自分で考えさせるようにもっていくのも、1つの手ですよ。

## でも、やっぱりウチの子はダメなんです

- わが子のことは気になりますよね。「うまく育ててやれなくて、取り返しがつかない」なんてふさぎ込むこともあるかもしれません。そんな時は、お子さんの「いいところ」をいくつか思い浮かべてみてください。その「いいところ」、あなたが育てたんですからね。あなたには子どもさんを育てる力量があるんですよ。
- そういうふうには思えないって?…そんなときは、

…裏面の「ひとりで悩まないで」のところを見てください。